

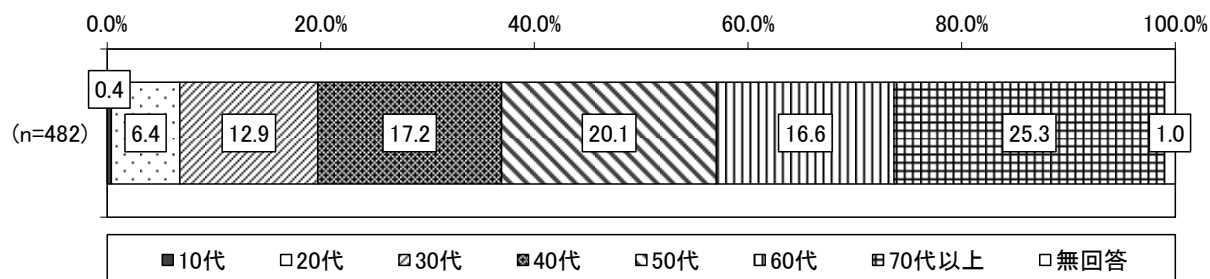
「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン  
骨子に関する意識アンケート調査」  
調査結果(速報版)

期間	2024年11月18日(月)～12月2日(月)
回収数 / 配布数	482票(紙:308、WEB:174) / 3400
回収率	14.2%

# 1 はじめに、あなた自身のことについてお伺いします。

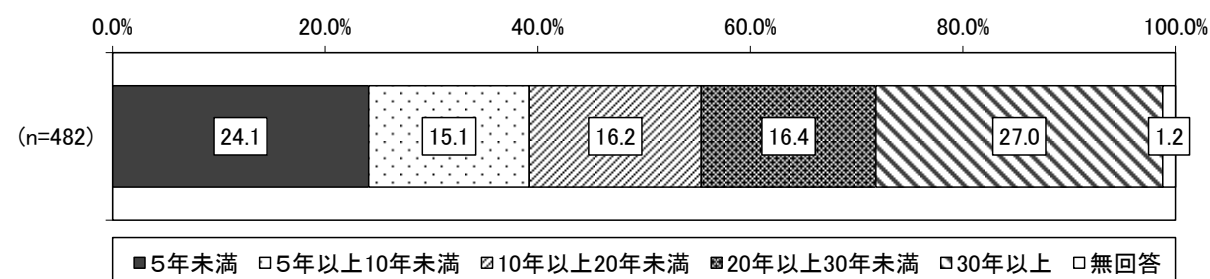
## 問 1-1 年齢(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

回答者の年齢は 70 代が 25.3%と最も多く、次に 50 代が 20.1%となっています。



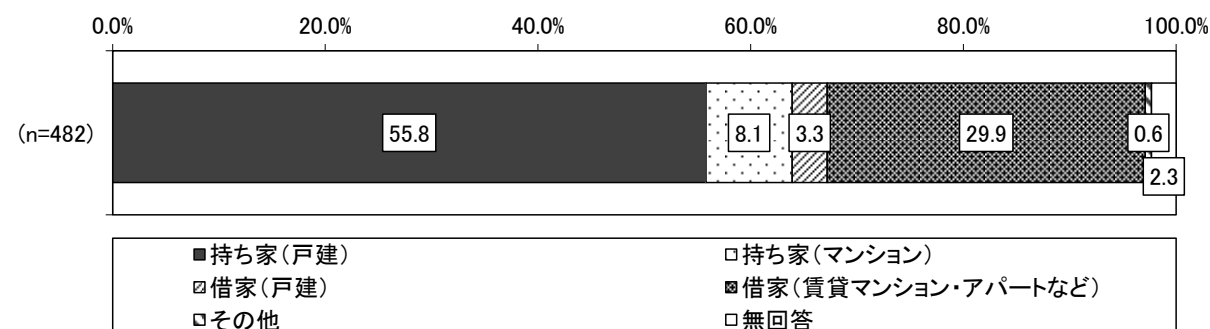
## 問 1-2 居住年数(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

回答者の居住年数は 10 年以上が 59.6%となっています。



## 問 1-3 居住形態(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

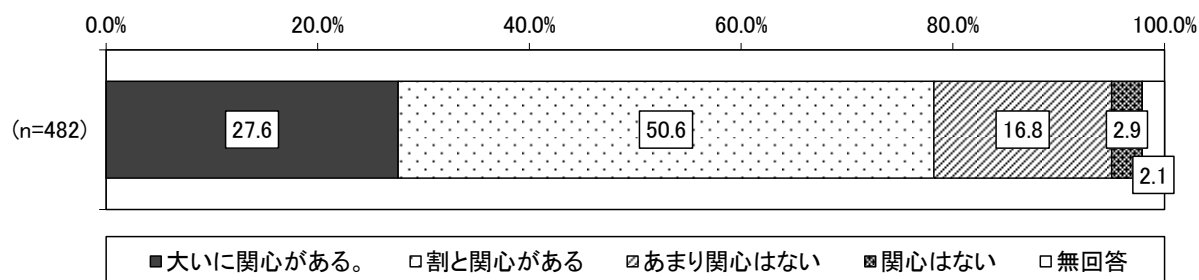
回答者の居住形態は持ち家(戸建)が最も多く 55.8%となっており、借家(賃貸マンション・アパートなど)が 29.9%となっています。



## 2 景観まちづくりへの関心についてお伺いします。

### 問2 景観まちづくりに関心がありますか？(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

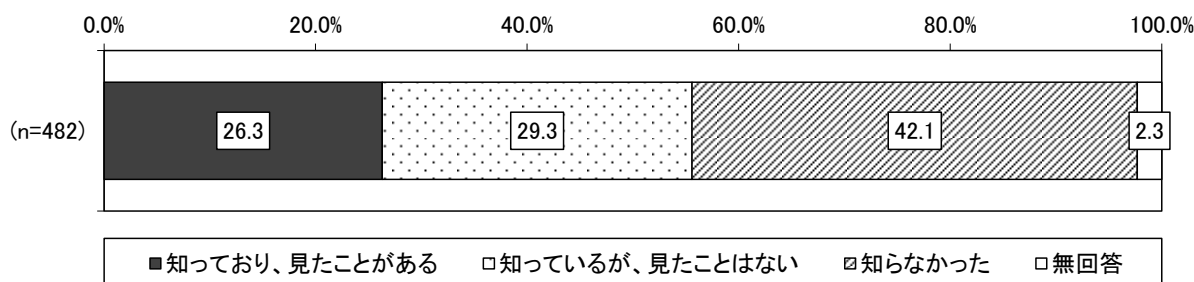
景観まちづくりへの関心について、「大いに関心がある」、「割と関心がある」を合わせると、78.2%となっています。



## 3 景観まちづくりプラン について

### 問3 「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン骨子(案)」を知っていましたか？(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

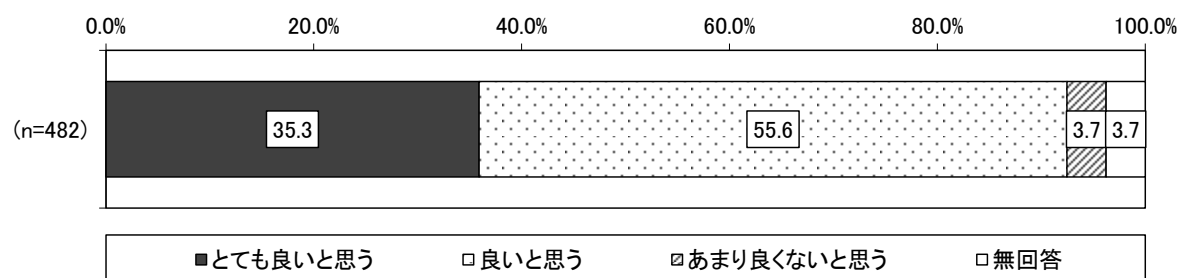
景観まちづくりプランについて、「知っており、見たことがある」、「知っているが、見たことはない」を合わせた認知度は、55.6%と最も多くなっています。



## 地区の景観の将来像 について

### 問4 地区の景観の将来像を次のとおり定めていますが、この将来像についてどう思いますか？(あてはまるもの1つに○をつけ、理由もお答えください)

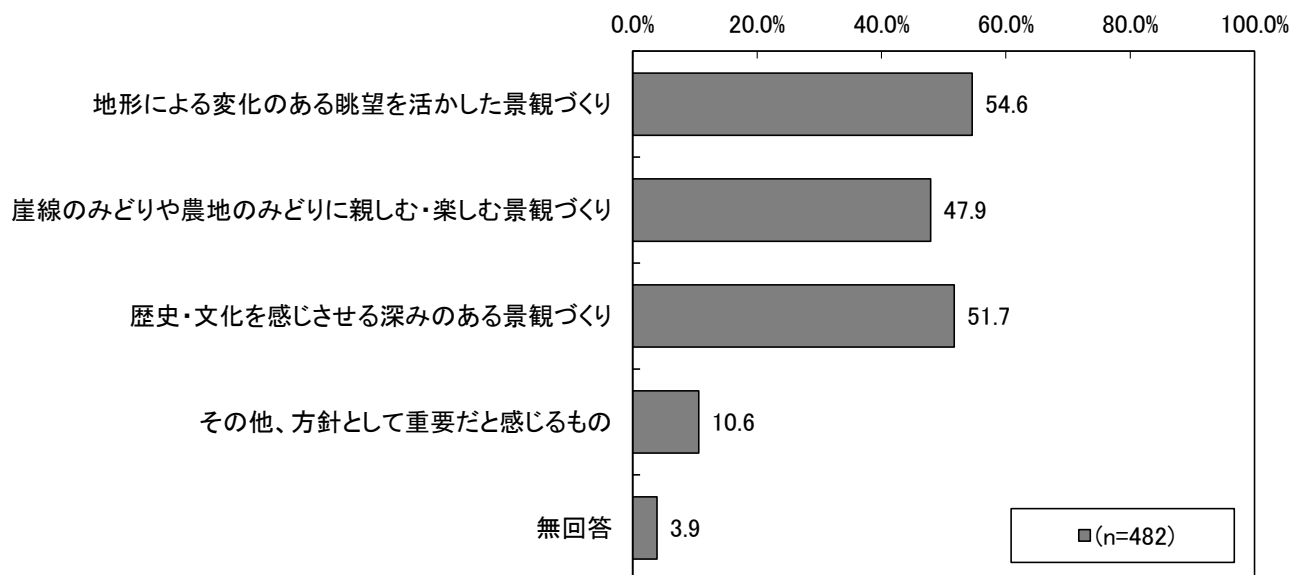
地区の景観の将来像について、「とても良いと思う」、「良いと思う」を合わせると90.9%となっています。



## 地区の景観まちづくりの方針 について

**問5 地区の景観まちづくりの方針を次のとおり定めていますが、これらのうち、重要だと思うものはどれですか？（あてはまるもの全てに○をつけてください。）**

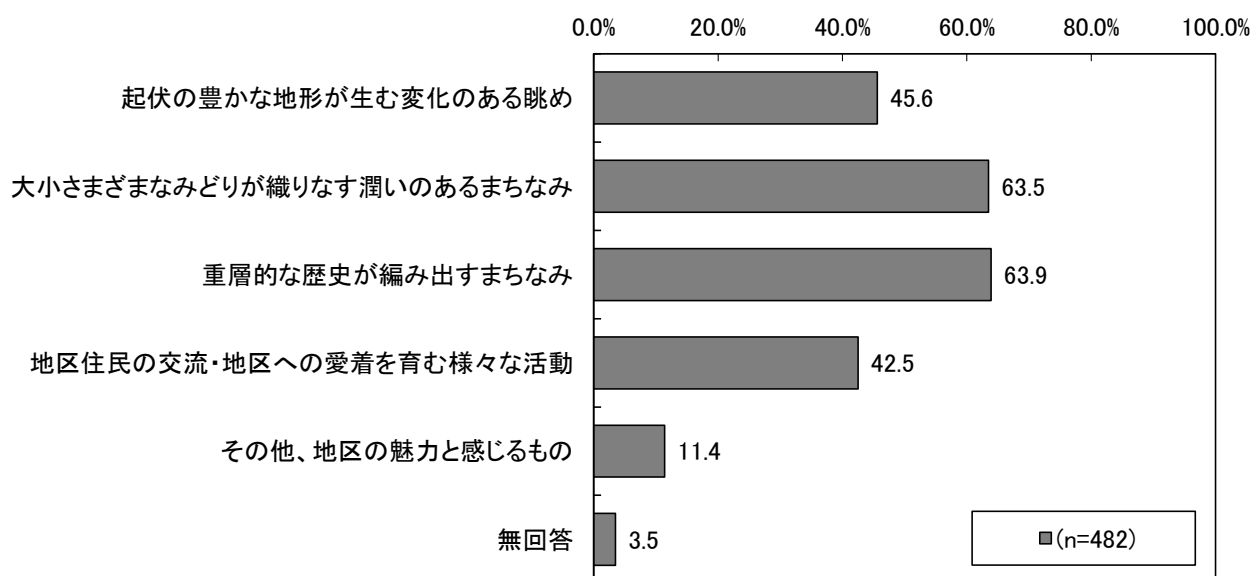
地区の景観まちづくり方針の重要だと思うものについて、「地形による変化のある眺望を活かした景観づくり」が最も多く54.6%となっており、いずれの項目においても50%前後で重要との回答を得ています。



## 地区の魅力 について

**問6 赤塚四・五丁目の景観に関する魅力とを感じるものは次のうちどれですか？（あてはまるものすべてに○をつけてください）**

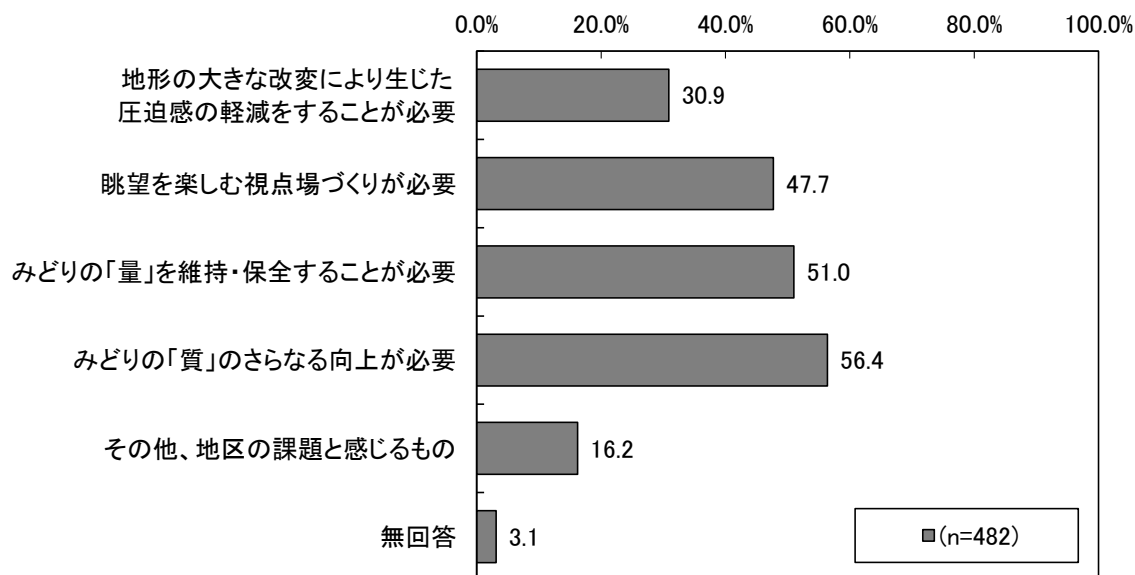
赤塚四・五丁目の景観に関する魅力としては、「重層的な歴史が編み出すまちなみ」が63.9%となっており、「大小さまざまなみどりが織りなす潤いのあるまちなみ」が63.5%となっています。



## 地区の景観に関する課題 について

### 問7 赤塚四・五丁目の景観に関する課題とを感じるものは次のうちどれですか？(あてはまるものすべてに○をつけてください)

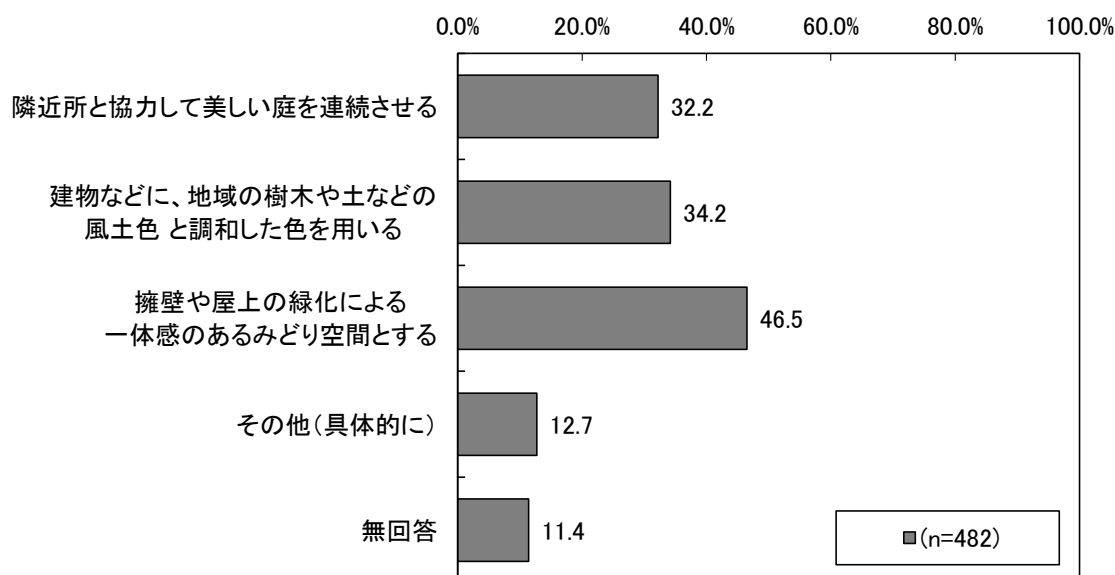
赤塚四・五丁目の景観に関する課題とを感じるものについては、「みどりの「質」のさらなる向上が必要」が56.4%と最も多く、「みどりの「量」を維持・保全することが必要」が51.0%となっています。



## 地区をより魅力的にするための工夫 について

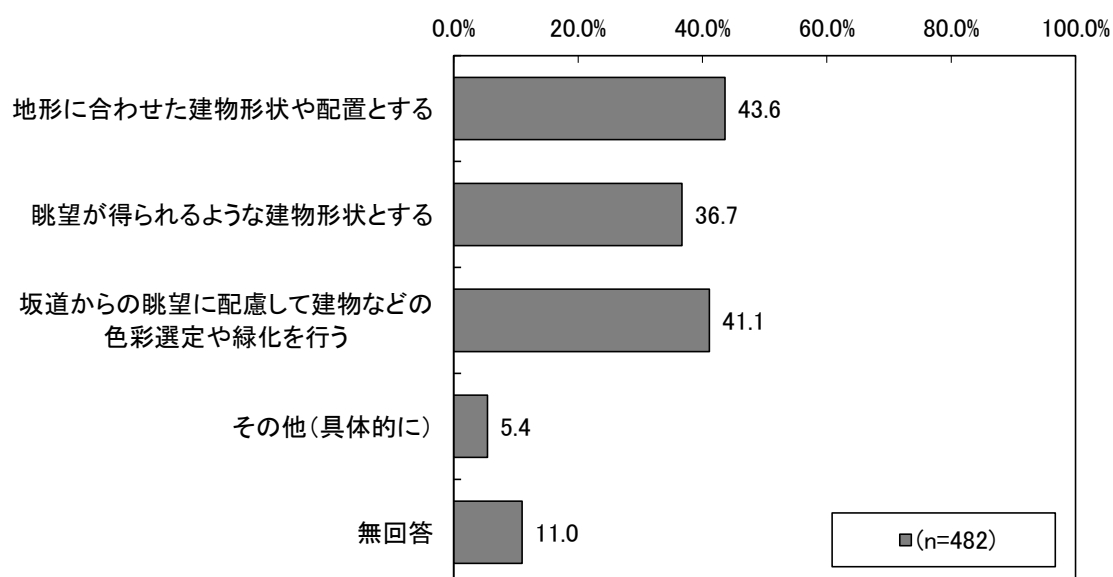
### 問 8-1 地区全体での工夫(あてはまるものすべてに○をつけてください)

地区全体を魅力的にするための工夫としては、「擁壁や屋上の緑化による一体感のあるみどり空間とする」が最も多く46.5%となっています。



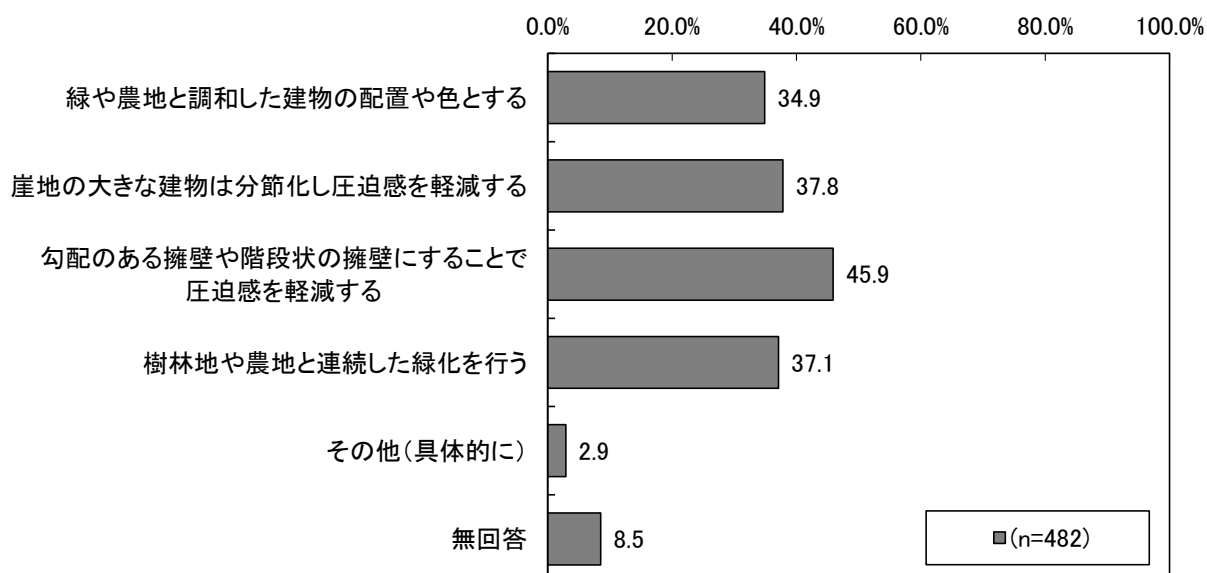
### 問 8-2 地形の変化による眺望を活かすための工夫(あてはまるものすべてに○をつけてください)

地形の変化による眺望を活かすための工夫としては、「地形に合わせた建物形状や配置とする」が 43.6%と最も高く、「坂道からの眺望に配慮して建物などの色彩選定や緑化を行う」が 41.1%となっています。



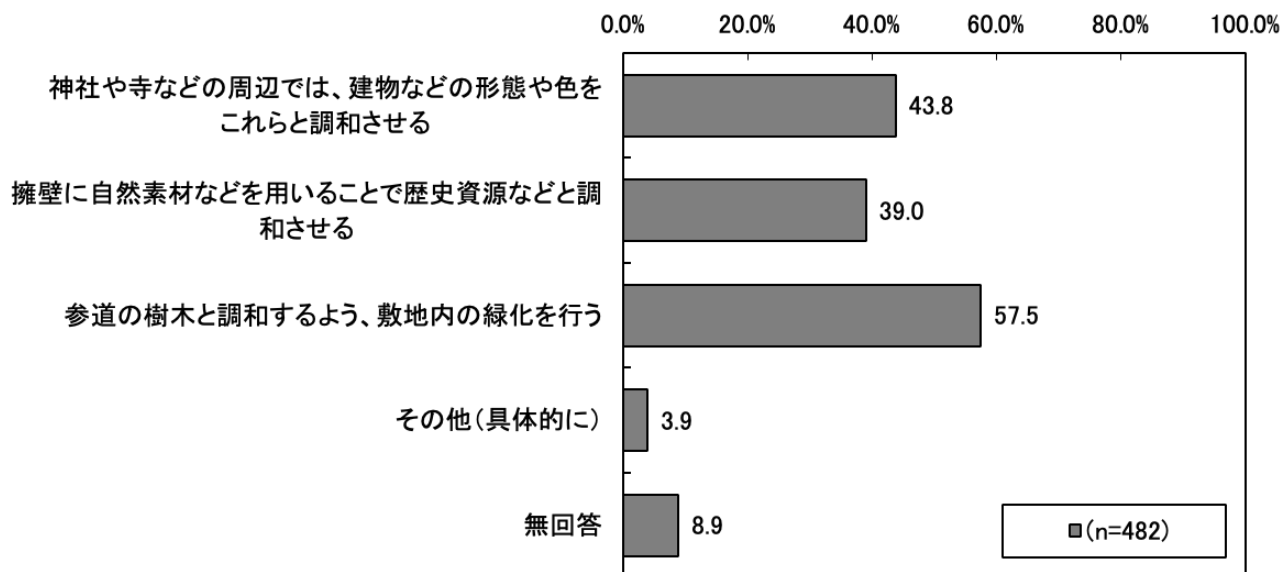
### 問 8-3 崖線の緑や農地に親しむための工夫(あてはまるものすべてに○をつけてください)

崖線の緑や緑地に親しむための工夫としては、「勾配のある擁壁や階段状の擁壁にすることで圧迫感を軽減する」が 45.9%と最も高くなっています。



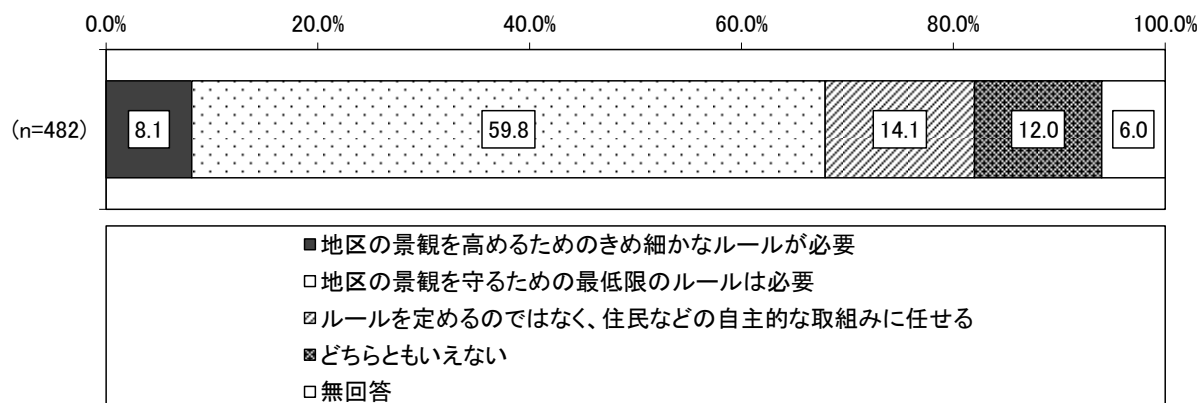
#### 問 8-4 歴史や文化を活かした工夫(あてはまるものすべてに○をつけてください)

歴史や文化を活かした工夫としては、「参道の樹木と調和するよう、敷地内の緑化を行う」が 57.5%と最も高くなっています。



#### 問9 隣接する景観形成重点地区「板橋崖線軸地区」では、良好な景観を保全し、さらに向上させていくために、建物の形や色、緑化などに関する独自のルールを定めていますが、赤塚四・五丁目地区においても景観に関する独自のルールを定める必要があると考えますか？(あてはまるもの1つに○をつけ、理由もお答えください)

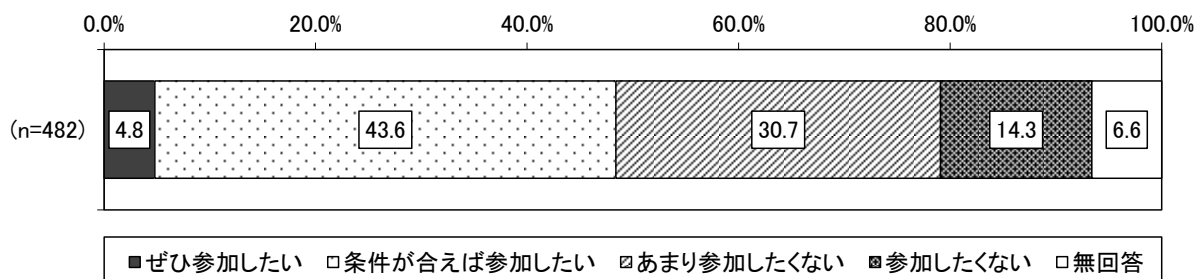
景観に関する独自ルールについては、「地区の景観を高めるためのきめ細かなルールが必要」、「地区の景観を守るための最低限のルールは必要」を合わせたルールを定める必要があるとの回答は 67.9%となっています。



#### 4 これからの景観まちづくりについてお伺いします。

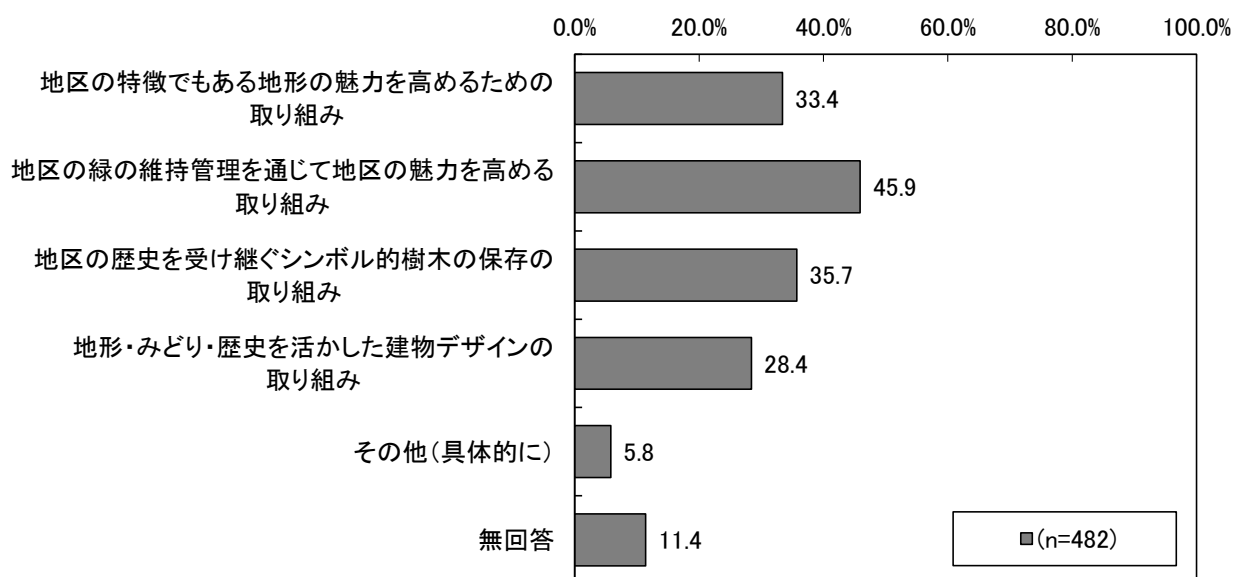
**問10** 板橋区では、引き続き地区の皆様と景観まちづくりを進めていきたいと考えていますが、景観まちづくりに関するイベントや勉強会があったときに参加したいと思いますか？(あてはまるもの1つに○をつけ、理由もお答えください)

景観まちづくりに関するイベントや勉強会について、「ぜひ参加したい」、「条件が合えば参加したい」を合わせた参加意思がある回答は48.4%となっています。



**問11** 景観まちづくりに関する活動のうち、興味・関心のある内容はどれですか？(あてはまるものすべてに○をつけてください)

景観まちづくりに関する活動のうち、興味・関心のある内容について、「地区の緑の維持管理を通じて地区の魅力を高める取り組み」が45.9%と最も高くなっています。



#### 5 地区の景観まちづくりに関するご意見などを記入ください。

赤塚四・五丁目地区の景観まちづくりに関して、ご意見やアイデアがありましたら、下欄にご記入ください

集計中